



新年のご挨拶

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 代表理事 山岡景一郎



新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の「今年の漢字」一文字は「安」でした。「安」保法案や戦後70年の節目で、国の平「安」を皆が考えた年。また、マンションくい打ちのデータ流用問題やイスラム過激派によるテロで「安」全が脅かされた年などで選ばれたようです。

翻って我が生衛業界を見てみると「安」泰の1年であったでしょうか。規制緩和が進められたことによって、今まで営々と築き上げてきたものにひび割れが起きてはいないでしょうか。規制緩和ありきではなく、業界の「安」心・住民の「安」全に十分配慮されたものであって欲しいと思います。

さて、今年、当指導センターは創立35周年の節目の年を迎えます。設立に向け、出損金のお願いや寄付行為の作成、役員集めに苦勞したことが思い出されます。2月には記念事業を開催します。生衛業発展のため、次へのステップに向けて進む機会になればと思います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。また、来年は先人が苦勞して成立に導いた「生衛法」が60周年を迎えます。全国的にもさまざまな催しが展開されるものと思います。こうした機会に再度、各界の生衛業が一丸となって業界の発展のために意思統一を図られる機会になればと思います。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



理事長 (代表理事)	山岡景一郎	(社交料飲)
副理事長	宮北 昭夫	(中華料理)
副理事長	小中 晃司	(公衆浴場業)
専務理事	石川 徳雄	(指導センター)
常務理事	福田 秋朝	(理 容)
常務理事	佐野 榮治	(喫茶飲食)

課題はいつの時代も山積しています。今は、歯止めがかからない組合員の減少や後継者問題、消費税増税等が挙げられます。しかし、先人は、山積している課題を一つ一つ乗り越えて、生衛業界の発展に尽くされてきました。今を生きる私たちも、今を悲観するのではなく、希望のある未来へ向かって生衛業が発展するための努力を続けていくべきと思います。

当指導センターも皆様のサポート機関として生衛業が発展していくように努力してまいります。引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、生衛業界の繁栄、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



「文化創生」から新たな京都を

京都府知事

山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って

昨年7月には、長年の悲願であった京都の南北軸、京都縦貫自動車道が34年という長い歳月をかけてようやく全線開通しました。京都全体に大きな流れを創るこの大事業の完成に尽力された全ての方々に、心からお礼を申し上げます。

この開通を期し北部7市町においては、4カ月にわたり「海の京都博」を開催し盛り上げていただきましたことに対しましても感謝申し上げます。

また、昨年は琳派400年記念事業、さらに国宝「東寺百合文書」と第二次世界大戦後のシベリア抑留者等の引き揚げ記録「舞鶴への生還」の世界記憶遺産登録。そして「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」の日本遺産への認定など北から南まで京都の持つ豊かな文化を示すことが出来た一年でした。

しかし、地方消滅とまで言われる少子・高齢化問題や、雇用情勢が好転すると顕著になる人材不足。円安により輸出産業が伸びる一方、内需型中小企業は原材料高に苦しみ、伝統産業も広幅織物は伸びたのに対し着物の需要はまだ低迷、さらにはTPP問題で農林水産業には懸念が広がるなど、さまざまな課題が改めて浮き彫りになった年でもありました。

京都流の地域創生へ

こうした課題の克服と同時に京都の力を最大限に発揮して、京都の将来を切り拓くことができるよう、昨年10月、「京都流 地域創生～『文化創生』から新たな生活を～」をテーマに「京都府地域創生戦略」を策定しました。

こうした問題の背景には東京一極集中や、大都市や大企業志向に代表されるような価値観の固定化が進む中での格差の広がりが、社会が柔軟性を失いつつあるのではという危惧があります。今、京都から、少子化問題・子供の貧困対策、若者の就労支援などもう一度「人づくり文化」を確立させ、マネーゲームにはない真の豊かさを取り戻すために産学公の力を結集し、技術力に裏打ちされたものづくりの素晴らしさを広め、京都の豊かな農林水産資源を六次産業へと発展させ

る時代を踏まえた「産業文化」を育成し、京都ならではの伝統・文化に恵まれた大都市と豊かな自然をもつ田園の両方の魅力を楽しむことができる、ある面整った「京都ぐらし文化」を創生させなければなりません。そしてこうした文化を統合させ、京都が多様性に富み、躍動的な地域として魅力を世界に発信できる「地域づくり文化」へと昇華させていくことが必要だと考えています。

これからの数年は京都の将来を左右する大事な時です。地域創生は他人事ではなくまさに私たちの未来です。

京都には、どこにも負けない歴史と伝統があります。さらには世界水準の大学・研究機関、高い技術力を持った中小企業の集積、豊かな自然環境など魅力的な資源や資産をたっぷり有しています。

「もうひとつの京都」の発信

昨年は「海の京都」を見ていただきました。そして今年は「森の京都」です。京都府の74.3%は森林であり、森は私たちの水を清め、空気を清く、災害を防ぎ、さらには貴重な木材資源を提供してくれます。何にも代えがたい宝である京都の森の素晴らしさを皆さまとともに分かち合い、次世代に引き継ぐため、「全国育樹祭」を中心に、森の恵みを府民の皆さまに体感していただく「森の京都博」や丹波高原の国定公園の新規指定など、林業の振興と自然保護と森の文化が一体となった「森の京都スタイル」の確立を目指した地域づくりを進めることとしています。

こうした素晴らしい森林を未来に受け継いでいくための財源として、「豊かな森を育てる府民税」の導入を昨年、府議会でご議決いただきました。4月から年600円お願いすることになりますが、どうか府民の皆さまに、この税に対するご理解をいただきたいと思ひます。

京都の未来を拓く人づくり、地域経済を活性化させて仕事をつくり、京都への人の流れをつくる。さらには新しい交流の中で持続可能で魅力と活力のある地域をつくり、そして京都から日本を変える新たな「文化創生」。今多くの観光客が京都を目指しています。単に名所旧跡があるからだけではなく、京都の持つおもてなしの心、人を癒す環境、ほんまもんが持つ力が人々を引きつけているのだと思ひます。

今年、リオデジャネイロでの夏のオリンピック・パラリンピックが終わればよいよ東京オリンピック・パラリンピックへの道のりが始まります。その皮切りが、秋に京都で行われる国主催のスポーツと文化の国際フォーラムです。京都の「文化創生」はいよいよ本番を迎えます。府民の皆さまのご協力を心からお願いし、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



“共汗”のまちづくりが着実に前進！ 共々に明るい未来へ！

京都市長

かどかわ

だいさく

門川 大作

あけましておめでとうございます。

この一年の皆さんの御多幸をお祈り申し上げます。

皆さんの御支援をいただき、市長就任後8回目の新年を迎えました。この間、現地現場主義に徹し、六千箇所以上の市民の皆さんの活動の場、市政の第一線を訪ね、京都の今と未来を見つめ、市政改革に邁進してまいりました。その度に、改めて京都の地域力、創造力、それらを支える皆さんの人間力に感動し、感謝感謝の日々です。

多くの方からこんな声をいただきます。デイサービスセンターが近くでできて喜んでます。京都のまちが、趣のある看板や「門掃き」などで美しくなってきましたね。待機児童ゼロ！保育所に入りやすくなり、幼稚園も充実。さらに小・中・高校が地域、PTA、教職員の熱意により画期的に良くなってきましたね。市バス、地下鉄が便利になり、お客様も

増えてますね。観光人気都市世界一は私たちの誇りです。京都の都市格の高まりを実感してます。水族館に続き、動物園、動物愛護センターが素晴らしい！ロームシアター京都、鉄道博物館の開館が楽しみです…。市民の皆さんと共に汗する“共汗”で進めてきた施策の確かな前進を、肌で感じています。

府市協調で二重行政を打破し、行政の効率化と行財政改革の断行で財源を確保。また市民の皆さんの御協力でごみは43%減り、年間ごみ処理のコストは106億円削減、福祉等の充実へ。歩くまち京都・公共交通優先の取組も着実に進展。マイカーで入浴する方はこの20年で42%から9.9%に減少。四条通の歩道拡幅も御心労おかけしましたが、工事が完成し歩きやすくなり、バスの運行もほぼ順調に。福祉と共に、子育て環境日本一を目指す施策も前進。そんな京都で子育てしたい、住みたい！という方が増え、転入される方も増えてきました。

しかし、市民の皆さんや中小企業の皆さんが豊かさを実感されるまでには至っていません。まだまだ課題も山積。京都ならではの文化力、知恵を活かし、経済の活性化、安定した雇用の創出につなぎ、市民の皆さんに「京都に住んでいてよかった」と心から感じていただけるよう誠心誠意努力します。そのためにも文化庁を京都に！オール京都で取り組みます。

皆さんの御理解御支援に改めて感謝申し上げます。

栄えある受賞おめでとうございます

平成27年度生活衛生功労表彰受賞者 (敬称略)

厚生労働大臣表彰者

理容	西堀 慎介
寿司	奥野 善信
喫茶飲食	山田 高弘

中央会理事長表彰者

クリーニング	今井 十一
食肉	岡山 繁夫
料理	廣谷 和仁
美容業	海東 邦夫※
飲食業	武原 賢三※

※中央推薦

知事表彰者

公衆浴場業	鈴木 信也
旅館ホテル	菱川 義浩
食肉	吉岡 浩人
美容業	奥田 英一
麺類飲食業	太田垣 哲男
食鳥肉販売業	重田 久枝
飲食業	石谷 彰男

協議会会長表彰者

理容	長野 絃一	麺類飲食業	永田 善久
クリーニング	田崎 保男	麺類飲食業	松野 泰治
公衆浴場業	吉田 浩隆	喫茶飲食	澤本 信太郎
公衆浴場業	高田 永洙	喫茶飲食	山田 喜久夫
旅館ホテル	畑中 誠司	飲食業	佐野 栄次
旅館ホテル	柏 和實	飲食業	牧野 順二



●生活衛生営業経営研修会を開催 (平成27年11月19日)

『最近の三大話～身近な話題から世界まで～』
平安女学院大学 国際観光学部 准教授 山本芳華 氏

平成27年10月に施行された、ごみ半減をめざす「しまつのころ条例」をはじめとする、生衛業の身近な課題であるごみ処理問題やまちづくり、観光について地域研究や調査に基づいた考察をお話いただきました。





指導センター創立35周年記念事業

この度、当指導センターは、本年2月16日に創立35周年を迎えることとなりました。これを記念し、下記のとおり記念事業を行います。

日時 平成28年2月16日(火) 開会:午後1時00分より
場所 京都ガーデンパレス(京都市上京区)
内容 <記念講演会> 午後1時00分～

講師 未生流笹岡 家元 笹岡 隆甫 氏
演題 いけばな～花の哲学～

<記念式典> 午後3時00分～
<交流会> 午後4時30分～(※会費制)

指導センター事業のお知らせ

●無料税務相談会

日時 平成28年3月1日(火)・2日(水)
13:00～16:00
※予約制(一人1時間まで)
場所 京都府生活衛生営業指導センター
申込先 TEL 075-722-2051

今年度は確定申告時期の直前に開催をします。ご予約はお早めをお願いいたします。



京都府生活衛生営業指導センター
無料税務相談会のお知らせ

確定申告など税金に関する疑問はありませんか？
当指導センターでは、女性税理士による無料税務相談会を開催します。
ぜひ、ご利用ください！

平成28年3月

1(火) 2(水)

時間 ●午後1時～午後4時 ※要予約
※ご相談時間はお人様1時間までです。
場所 ●京都府生活衛生営業指導センター
京都府左京区藤原西樋ノ口町90

ご予約は
当指導センターまで
お電話下さい。
TEL: 075-722-2051
※予約は3月15日(火)までです。
個人の所得税の申告と納付は3月15日(火)までです。

平成27年分 国税庁

確定申告

申告書の作成は
自宅のパソコンで

確定申告 検索

所得税および復興特別所得税・贈与税

申告と納税 平成28年
3月15日(火)まで

●京都府北部生活衛生同業組合情報交換会

日時 平成28年2月22日(月) 14:00～16:00
場所 福知山サンホテル(京都府福知山市)
内容 第1部 基調講演
テーマ 『1億総活躍社会の実現とインバウンド需要の刈り取り』
講師 泉興産株式会社取締役 井植 浩之 氏
第2部 日本政策金融公庫 融資制度説明会
第3部 情報交換会
問合せ 当センター TEL 075-722-2051



Kyoto SeeL通信

Vol.184 Winter

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人
京都府生活衛生営業指導センター

京都市左京区田中西樋ノ口町90
TEL 075-722-2051
http://www.Kyoto-seeL.com/

京都SeeL



Sマークは、安全・安心・清潔の目印です。



2月は、標準営業
約款登録月です。



mobile access

